

令和8年度 第3学年 家庭科 年間指導計画 予定年間授業時数： 17, 5 時間

使用教科書：開隆堂 「新しい技術家庭 家庭分野」

使用副教材：山崎教育システム「楽しい紙絵本作り」

教科の学習目標：実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的、基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭についての理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

<学習内容>

学期	学習単元	学習内容
1	C 住生活の自立 3 住まいと地域  A 家族・家庭と子どもの成長 2 幼児の生活と遊び 幼児のための紙絵本の制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住居の基本的な機能や、安全に配慮した室内環境の整え方を知る。</li> <li>・安全で快適な住まい方を考え、具体的に工夫できるようにする。</li> <li>・自分の幼児期を振り返り、幼児の発達とその生活に関心をもつ。</li> <li>・幼児の体と心の発達を知り、その成長が家族に支えられていること、また、家族だけでなく地域、行政機関に支えられているものであることに気づく。</li> <li>・幼児の発達と遊びの関係を知り、遊び支える道具、環境に関心をもつ。</li> <li>・幼児のための紙絵本を製作する。</li> </ul>
2	幼児のための紙絵本の制作  3 幼児とのふれあい 4 これからのわたしと家族	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の特徴や、自分で設定した課題にそって、絵本を製作する。</li> <li>・幼児とのふれあい、または観察について、自分の課題を設定する。</li> <li>・幼児とのふれあい、または観察を通して学んだことを発表する。</li> </ul>
3	1 わたしたちと家族・家庭と地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭が地域の様々な人とのつながりによって成り立っていることを意識し、中学生として地域にどのように関わっていくことができるか考える。</li> </ul>

評価の観点・方法

以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動をしっかりと評価します。

観点（全体に対する割合）	観点の趣旨	評価資料
観点1（33%） 知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	プリント・ 実習作品 定期考査
観点2（33%） 思考・判断・表現	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	プリント 振り返りカード 実習作品
観点3（33%） 主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	プリント チェックカード 振り返りカード 授業観察